

装丁でチャンプ本を決めよう！

特別活動
「本はこうして生まれる」
利用指導

ねらい

- 生徒の図書館利用促進を図るため、様々な本に触れる機会を作る。
- 生徒が本のできる過程を知ること、「装丁」に着目することから読書に取り組むきっかけ作りに役立つ。

学 習 展 開

- ① 本ができるまでの過程を紹介する。
 - ・編集者（出版社）
 - ・作家
 - ・校閲者
 - ・装丁家
 - ・印刷、製本
- ② 装丁に着目し、さまざまなジャンルの本を紹介する。同一作品の日本版、海外版を比較して、装丁が本の看板であることに気づく。
- ③ それぞれが自分の気に入った装丁の本を探し、グループで発表する。
- ④ 全体でグループのチャンプ本を発表する。特に、どのような点が良かったか説明する。
- ⑤ 装丁に着目しながら、内容以外から作品の世界観に触れ、読書喚起の一助になることを説明する。



司書教諭によるブックトーク

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は教員と相談して、ジャンルの違う資料を準備する。
- 司書教諭はブックトークをしながら、装丁のどこに着目するか紹介する。
- 学校司書は、生徒が本を探す支援を行う。

★指導のポイント

- ◆ 本の内容には一切触れない。
- ◆ 図書館の本を少しでも多く手に取ることを指導する。
- ◆ 全体で発表することで、装丁の良さを共有させる。

資料

村上春樹「1Q84」「ノルウェイの森」「海辺のカフカ」日本版、英語版、中国語版、ロシア版
その他、ジャンルを問わず人気装丁家の本